

おまけ 「本当は何があなたを 病氣にするのか？」

本当は何があなたを
病氣にするのか？

あなたが病氣について
知っていると思ってきたこと
すべてが間違いの理由

上



ドーン・レスター &
デビッド・バーカー著

字幕大王訳

中村篤史 (ナカムラクリニック院長) 推薦



現代医学のほとんどすべてが間違い！

口というより、故意にやっているウソ

この本を読むと。。。

- 頭に染み込んだこれまでの「常識」を保ち続けるのは、難しくなります。
- 医者・学者の言うことが、ほとんどすべてウソだとわかります。
- この壮大な詐欺が行われている理由がわかります。
- 彼らの言うことを聞いていれば、不健康になるばかりか、死ぬことになるとわかります。
- 病気を避ける方法、健康を保つ方法が「ある程度」わかります。

結論から

□ 病気の原因は四つだけ(下巻で紹介)

- 栄養不良
- 毒物
- 電磁波
- 長期にわたるストレス

□ ウィルスなど存在しない。一切の証明はない

□ バクテリア(結核菌など)は病気の原因ではない

□ 医学界の言うことは矛盾だらけ

- そもそも「細菌が起こす病気」は存在しないので、「抗体」はウソ。あらゆる病気の「抗体検査」はデタラメばかり。
- したがって、「免役」はまるでウソで、存在しない。身体には、維持と修復システムのみがある。
- したがって、「抗生物質(バクテリアを殺す)で治る」のはウソ。治るように見えるのは、毒物である抗生物質を身体が懸命に排除するから。

ウソの理由

□医学界(WHOなど)は、製薬会社・電気通信産業・軍部・化学産業等に完全に乗っ取られており、その都合のいい言説を流布している。

- 細菌が病気を起こすことにして、ワクチンや薬で大儲け
- 非感染性疾患(がん、リウマチなど)の原因が全くわからないのに、「薬」を作って売りつける
- 電磁波の危険性を一切言わず、電気通信産業を手助け
- 消費者製品にある化学物質を、テストもせずに安全とする。石油化学産業の利益